記者発表資料

平成 ２７年　７月 １０日
国土交通省郡山国道事務所

国道１２１号
会津縦貫北道路（湯川南IC～会津若松北IC）が、
平成２７年９月６日（日）に開通します

～地域産業・観光・救急医療に貢献～

国土交通省が事業を進めて参りました、一般国道121号会津縦貫北道路の未開通区間となっている**湯川南IC～会津若松北IC間（延長約3.0km）**が、**９月６日（日）に開通**する見込みとなりましたので、お知らせします。

今回の開通により、これまで整備を進めて参りました喜多方IC～湯川南IC間と合わせて約１３．１ｋｍが一連で通行可能となります。

会津地域では、９月２１日～２３日に「会津まつり」が開催されるなど、本格的な観光時期を迎えます。今回の開通が会津地域の経済活動を支え、更なる復興への支援となることが期待されます。

○開通による主な整備効果

効果１：喜多方市へ企業16社が工場を新設・増設し、新たな雇用を創出

効果２：主要観光拠点間のスムーズな移動確保により、観光振興を支援

効果３：迅速・安定した救急搬送ルートを確保

１．開 通 日　　平成２７年 ９月 ６日　日曜日

２．開通区間

○一般国道121号　会津縦貫北道路

湯川南IC～会津若松北IC　（延長約3.0km）

※今回開通する区間は、これまでと同様無料となります。

※会津縦貫北道路は自動車専用道路であり、歩行者、自転車、軽車両、二輪車（125cc以下）は通行できません。

【当日の開通時刻、開通式典等については、後日お知らせします。】

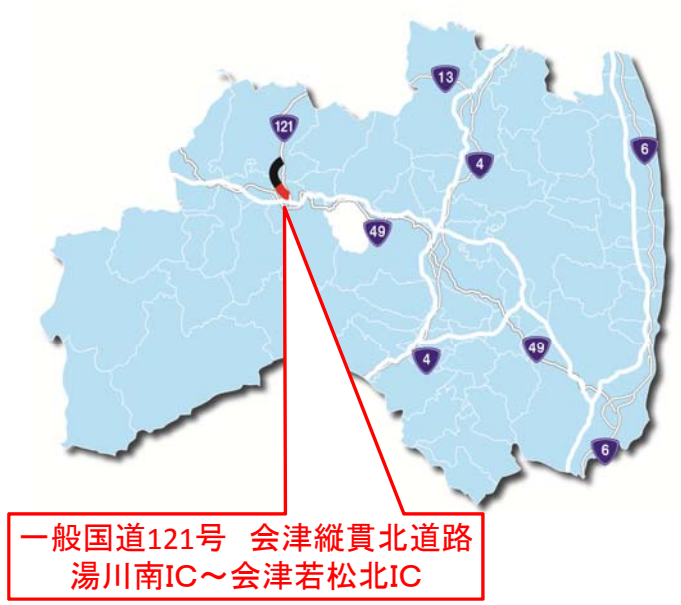
＜発表記者会：郡山記者クラブ・会津若松市記者クラブ・喜多方日刊新聞記者クラブ＞

【 問 い 合 わ せ 先 】

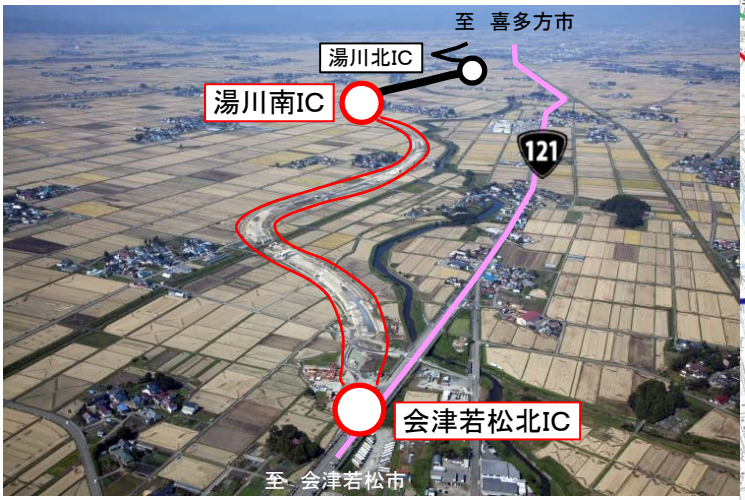
国土交通省　東北地方整備局　郡山国道事務所
TEL　０２４－９４６－０３３３

技術副所長　　中村　幹男（内線：２０４）
工 務 課 長　　佐藤　幸喜（内線：４１１）

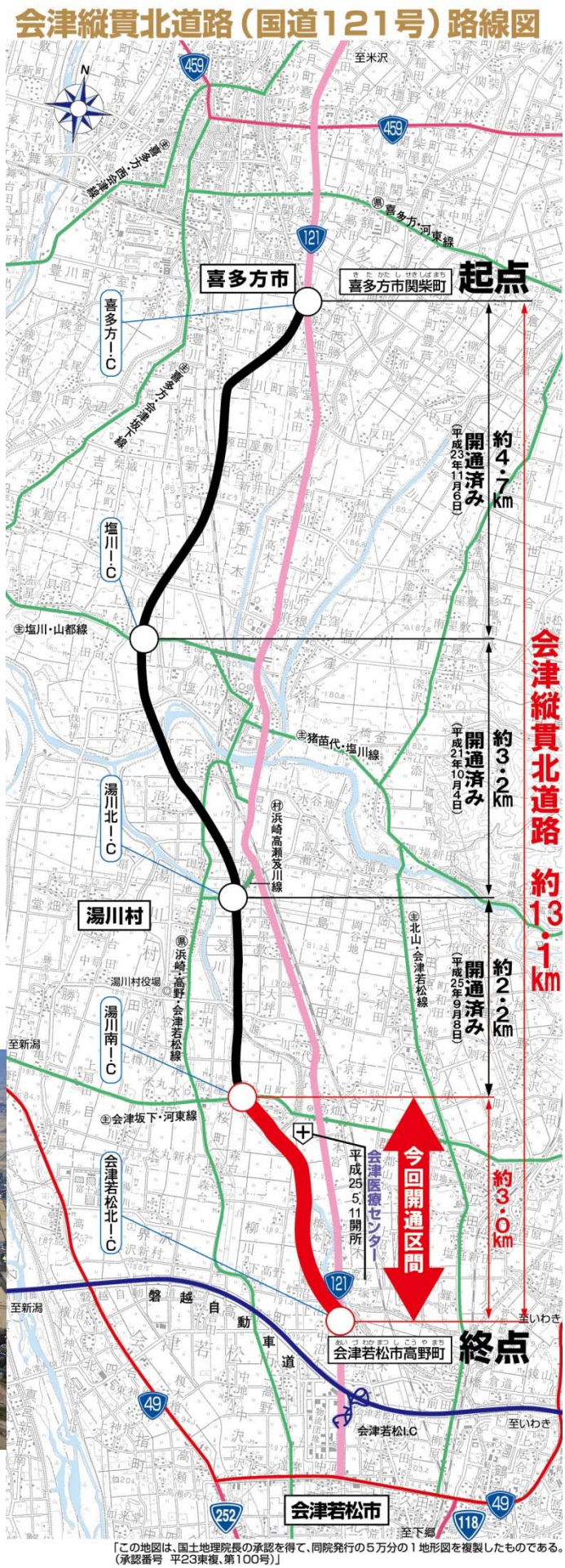
一般国道121号
会津縦貫北道路
湯川南IC～会津若松北IC
（延長約3.0km）



一般国道121号　会津縦貫北道路
湯川南IC～会津若松北IC



今回の開通区間
（会津若松市側から喜多方市側を望む）

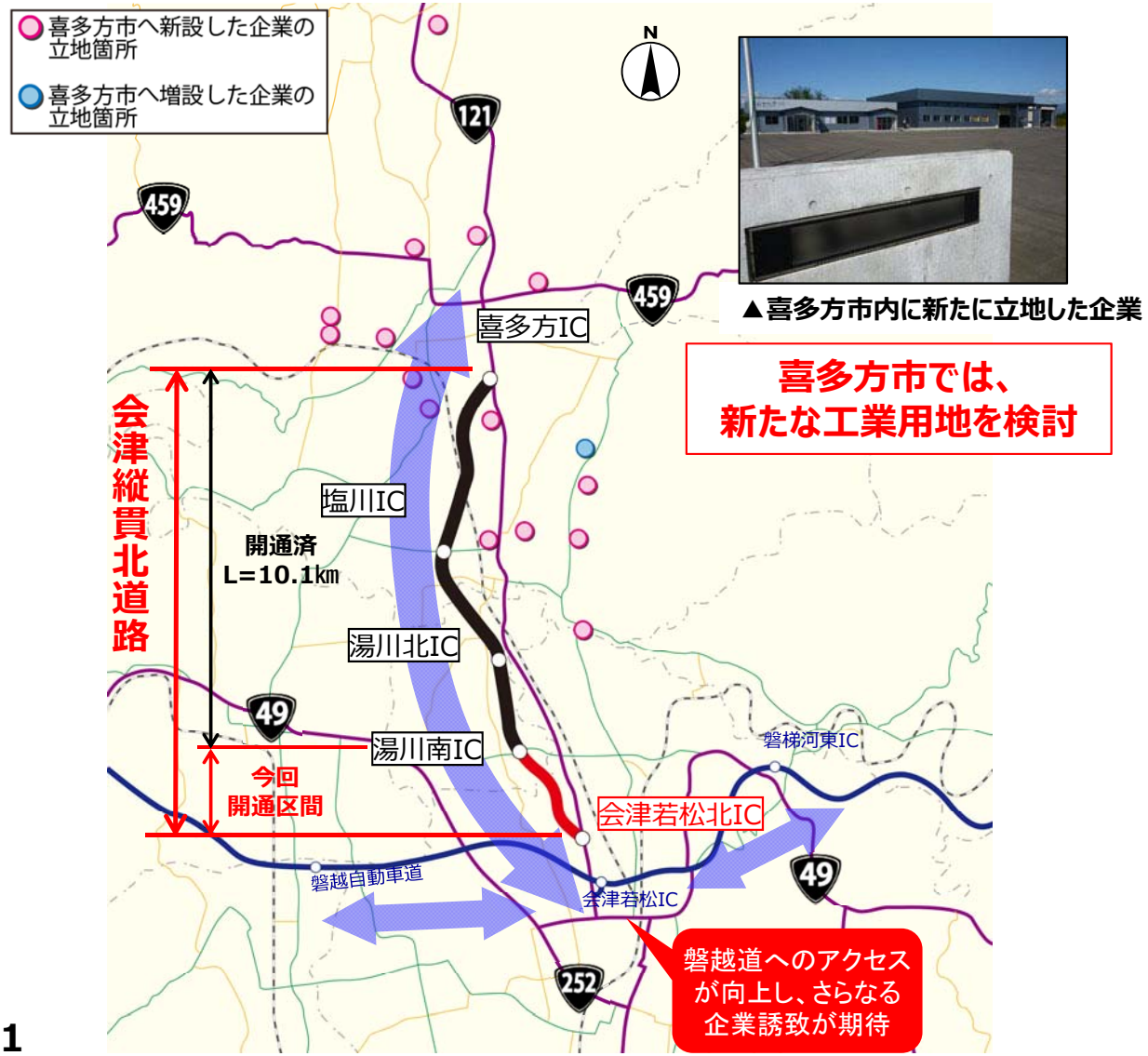


喜多方市へ企業１６社が工場を新設･増設し、新たな雇用を創出

◆会津縦貫北道路の開通以降、喜多方市へ企業１５社が工場を新設、１社が工場を増設し、新たな雇用（115名）を創出

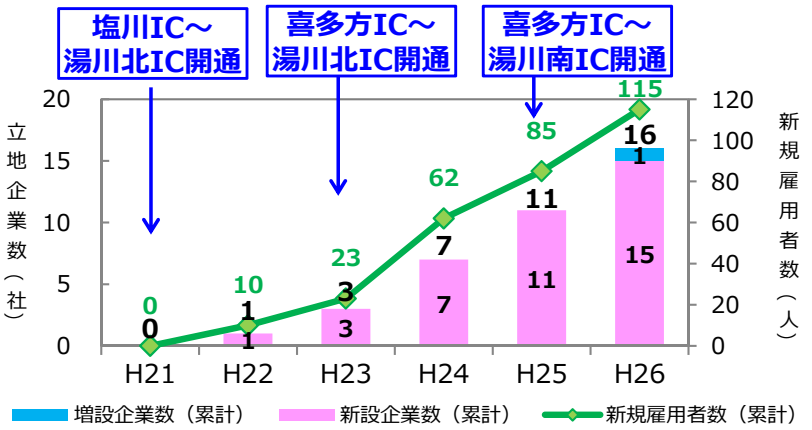
◆また会津縦貫北道路の開通以降、喜多方市の有効求人倍率の伸びが４倍に（H26／H21）

▼喜多方市へ新設した企業の立地状況（H21～H26）



▲喜多方市内に新たに立地した企業

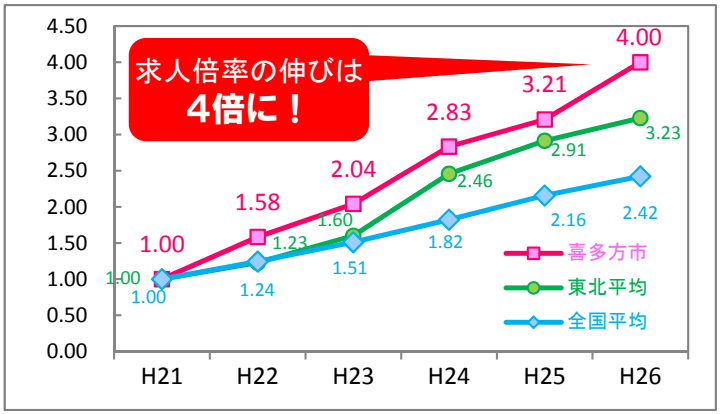
▼喜多方市へ新設した企業数･新規雇用者数（累計値）の推移（H21～H26）



※企業件数は年単位（1月～12月）の集計値

出典：喜多方市商工課

▼有効求人倍率の伸び率の推移（H21基準）



※求人倍率は年度単位（4月～翌年3月）の集計値
H26は4月～翌年1月までの集計値

出典：喜多方市商工課、厚生労働省

主要観光拠点間のスムーズな移動確保により、観光振興を支援

◆会津縦貫北道路の開通により、移動時間の短縮が図られ、喜多方市の観光入込客数も増加傾向

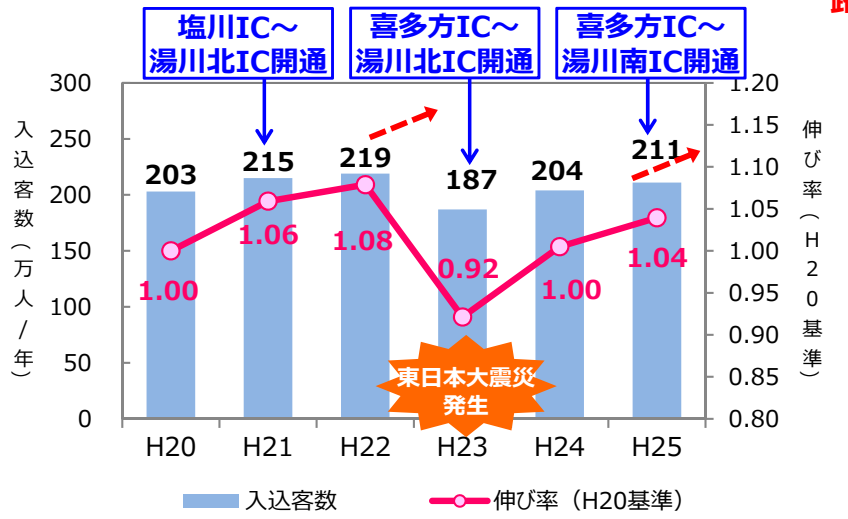
◆全線開通により、磐越自動車道会津若松ICとのアクセス性が向上し、会津地方の主要観光拠点間の移動がスムーズになり、観光入込客数の増加が期待される

観光客の行列で賑わう喜多方市内のラーメン店



喜多方を訪れる観光客の8割以上はまちなかに立ち寄り（その約9割はラーメン目当て）、会津若松や磐梯とセットで来訪される方が多い。
（新・喜多方市観光戦略策定調査報告書（H19.3）より）

▼喜多方市の観光入込客数の推移（H20～H25）



※観光入込客数は年単位（1月～12月）の集計値　出典：喜多方市



▼会津地方の主要観光地

出典：国道121号（会津若松～喜多方間）の所要時間は会津縦貫北道路開通前の速度（H21）で算出

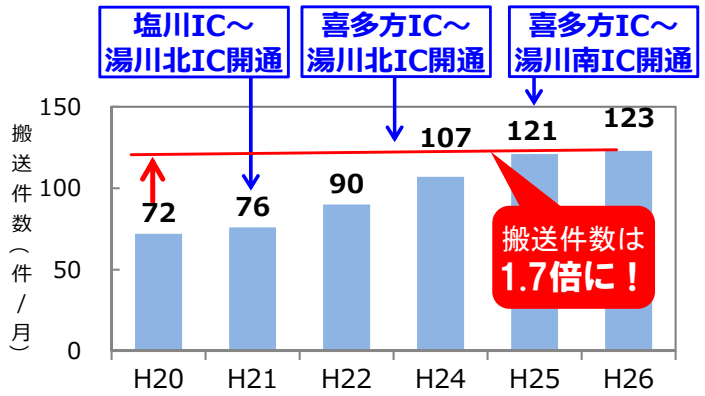
迅速・安定した救急搬送ルートを確保

◆喜多方市内の重篤患者は隣接する会津若松市内の病院へ搬送（123件/月）しており、近年は増加傾向
◆全線開通により、さらに迅速かつ安定した救急搬送ルートを確保

▼会津縦貫北道路の開通で会津若松市内病院へのアクセスが向上



▼救急搬送件数の推移
（喜多方消防管内→会津若松市内病院）



※救急搬送件数は年度単位（4月～翌年3月）の集計値　出典：喜多方消防本部
H23はデータなし、H26は9月時点までの実績値

国道121号



▼信号交差点数の変化（喜多方市～会津中央病院）

